Concur リリース ノート **Request （事前申請）**	
年/月	**対象**
2016 年 12 月 英語版の投稿: 12 月 9 日金曜日 13:00 PM 太平洋時間	Concur をお使いのお客様 最終版

コンテンツ

概要 2

【重要】 2

リリース ノート 3

事前申請（Request） 3

パッシブ承認ステータスの追加 3

承認後の出張の更新機能の追加 5

オンライン ヘルプ - 対応言語の追加 10

リリース ノートの管理者サマリーがオンライン ヘルプに表示されるようになりました 11

ConcurSolutions.com サインイン ページの背景画像の更新 12

管理 13

インポート／抽出管理 – ジョブの実行確認とログ記録の変更 13

2017 年 3 月に TLS v1.0 暗号化プロトコルのサポートを終了 15

解決した問題 18

その他リリース ノート、ウェビナー、および技術文書 19

Concur サポート ポータル 19

オンライン ヘルプ - 管理者 21

概要

【重要】

本サービスは事前申請、 Concur Request、あるいは単に申請や Request として知られているもので、以前は出張申請と呼ばれていましたが、その広範囲な機能に合わせるため名前を変更しました。（日本では 2012 年 11 月に変更しました。）

このサービスは、以前 Concur Expense で提供されていた購買申請機能とは異なります。

リリース ノート

事前申請（Request）

パッシブ承認ステータスの追加

概要

以前のリリースでは、申請の承認期限が切れても申請は「承認待ち」ステータスのままになっていたため、出張と申請ステータスの間に不整合が生じました。

パッシブ承認機能により、承認者は、承認待ちの申請を処理するかどうかを選択できるようになります。承認者が申請を処理しない場合、その申請はパッシブ承認アクションによって更新されます。

パッシブ承認機能で実行できる操作は以下のとおりです。

- 承認待ちの申請に対して有効期限を設定する（提出後の日数）。有効期限が到達すると、その申請にはパッシブ承認アクションが適用されます。
- パッシブ承認アクションを選択する（承認または差戻し）。
- 申請の最終承認日の数時間前にパッシブ承認アクションをトリガーする。最終承認日は、出張で構成します。

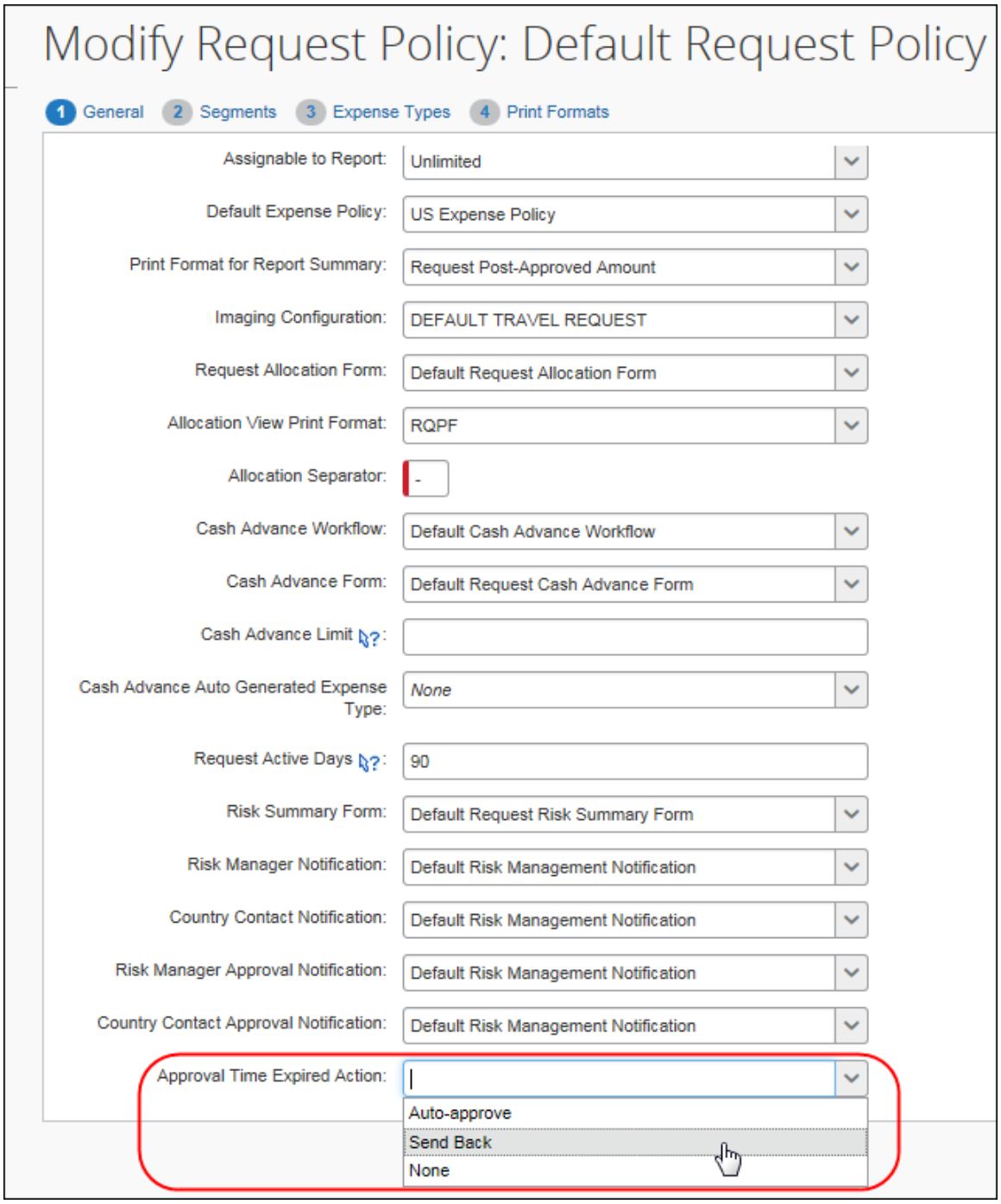
パッシブ承認アクションの設定は、ポリシー レベルで構成します。

業務目的とユーザーへの利点

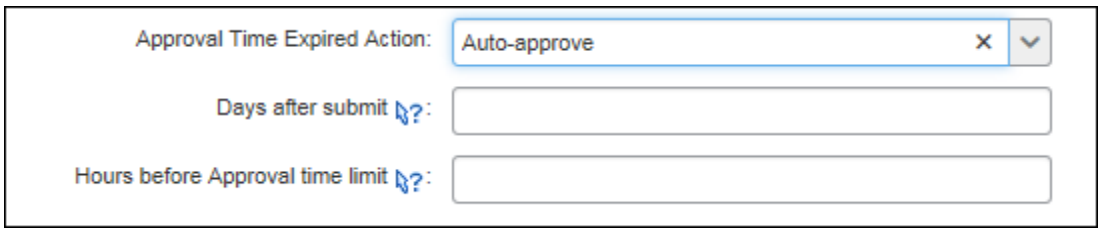
パッシブ承認オプションは、Concur Travel 単独で機能します。従来は、承認者が最終承認日より前に事前申請を承認しなかった場合、出張がキャンセルされていました。Request のパッシブ承認機能では、最終承認日前に自動承認（または差戻し）を構成できるため、出張がキャンセルされてしまうのを防ぐことができます。この機能は、承認期限がきわめて短い国では非常に重要です。ほとんどの会社は、出張が期限内に承認されない場合に、キャンセルではなく承認なしで出張者に予約を許可しています。

設定およびアクティブ化

この機能は、管理者がポリシーの **[承認期限切れアクション]** フィールドでオプションを選択してアクティブ化します。



管理者がオプションを選択すると、さらに 2 つのフィールドが表示されます。



[提出後の日数] フィールドには、承認期限切れアクションが申請に適用される、申請の提出後の日数を指定します。フィールドを空白にした場合、申請は変更されません。

[承認期限までの時間数] フィールドには、承認期限切れアクションが申請に適用される最終承認日の前の時間数を指定します。フィールドを空白にした場合、申請は変更されません。このオプションは、最終承認日がある空路セグメントおよび鉄道セグメントにのみ適用されます。

承認後の出張の更新機能の追加

概要

Request に承認後の出張の更新機能を追加しました。

出張者が会議に参加する前に出張を予約し、その会議が延期または予定変更されることがしばしばあります。出張申請が承認済みの場合、TMC に連絡しないと計画を変更できず、高額な予約料が発生します。Request のパッシブ承認機能では、承認済の申請を TMC を経由せずに変更できます。以下の機能が含まれます:

- ユーザーは承認済みの申請を撤回して、その申請に関連する出張を変更し、再提出することができます。ユーザーが申請を撤回すると、最終承認日をすでに過ぎている場合は撤回してから再提出まで 24 時間与えられ、それを過ぎると出張はキャンセルされます。

  承認期限が変更されておらず、かつ過去であった場合、ユーザーは撤回後 24 時間以内に出張を変更し、承認を受けるようにします。それを過ぎると出張はキャンセルされます。

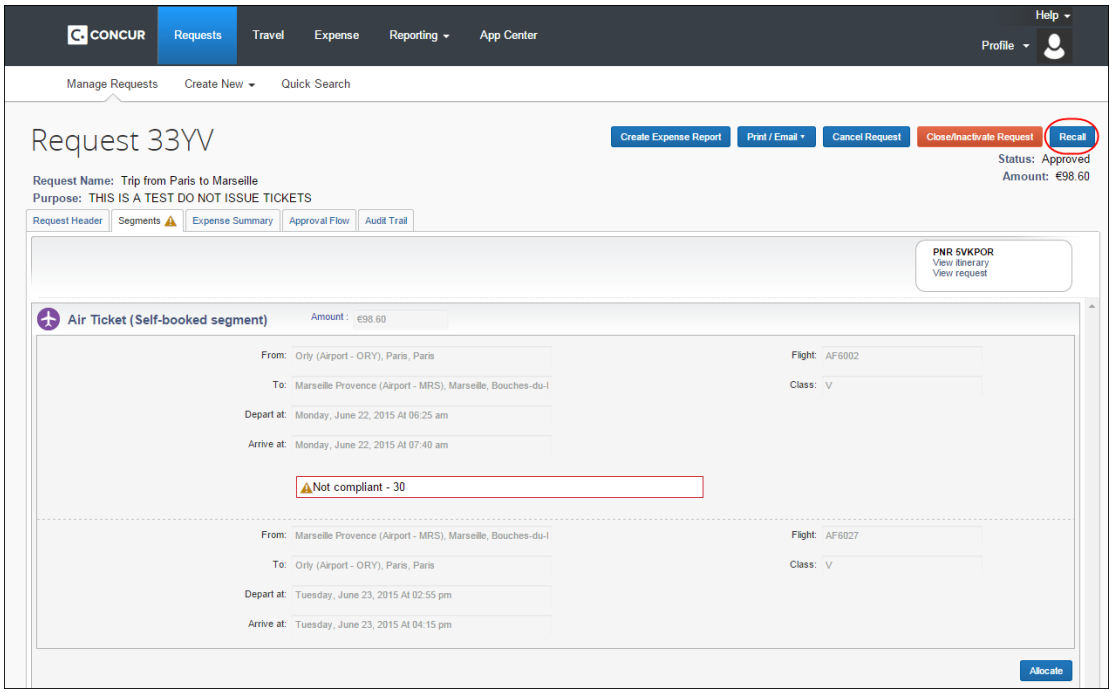
- 管理者は、新しいワークフロー変数 [以前の承認金額] で、以前の承認金額と新しい金額の差額に基づくワークフロー ステップのルールを構成できます。金額が大幅に変わらない限り申請の再提出に対する承認手順はスキップすることをお勧めします。

- 再提出後に承認が必須の場合、承認期限前に承認されないと、その出張はキャンセルされます。

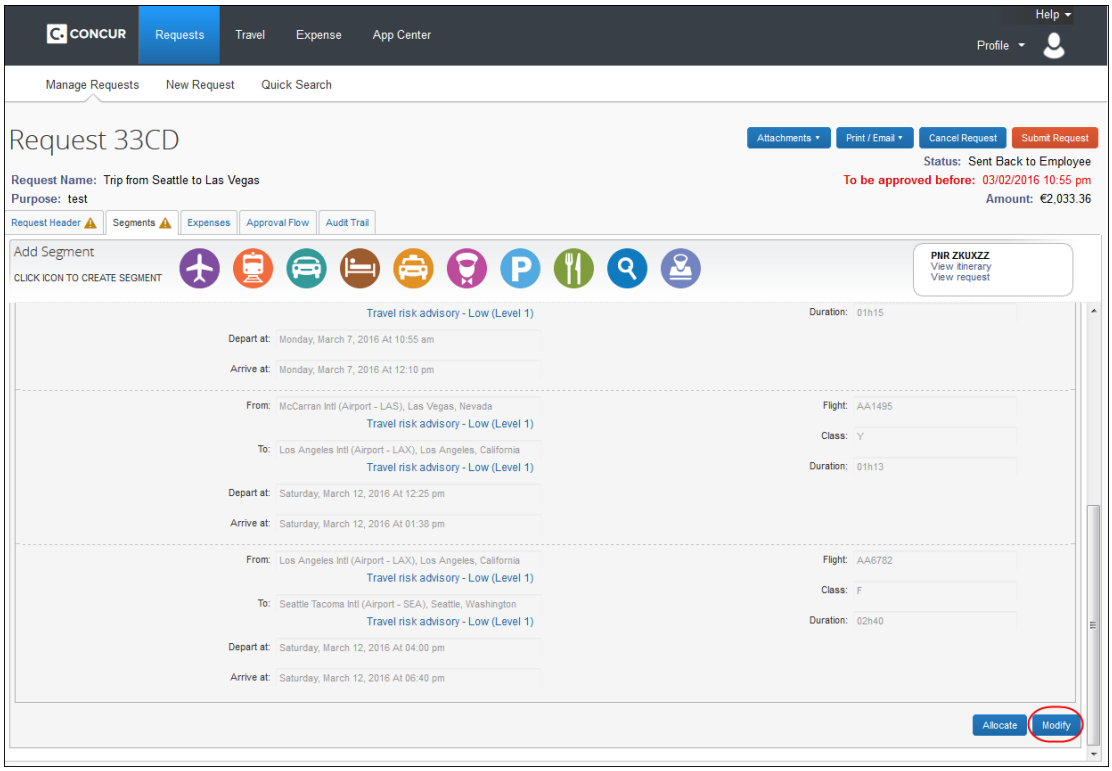
認後の出張の更新機能は、この機能に対応する TMC を利用しているお客様向けです。

ユーザーへの表示

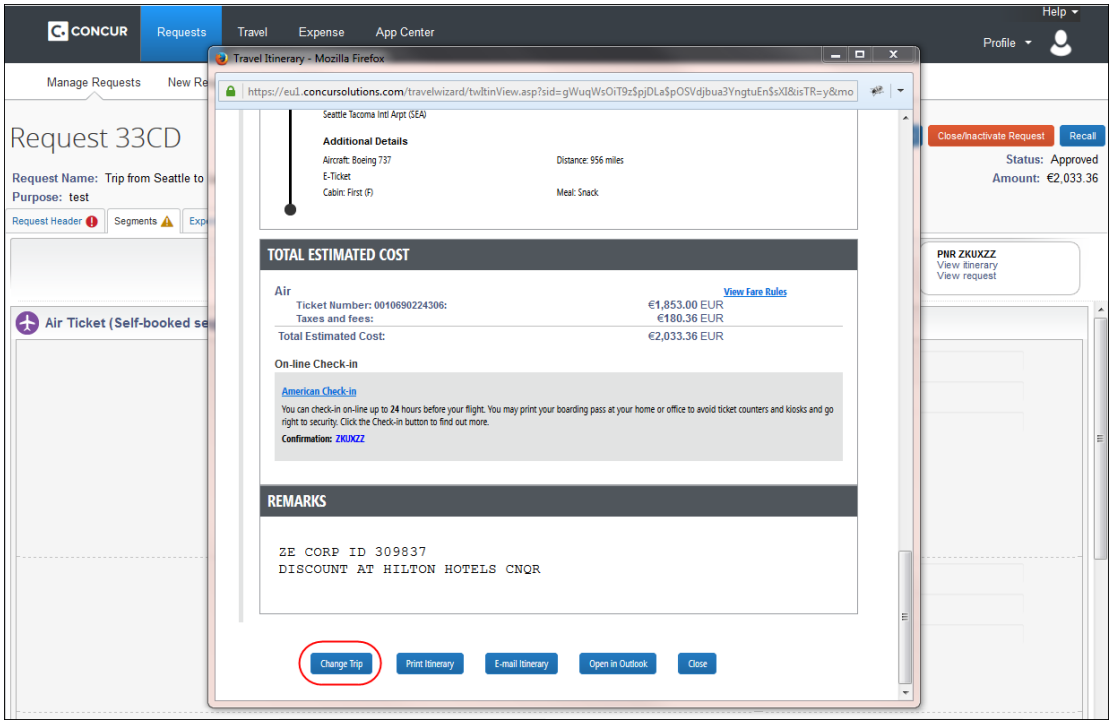
出張の承認後、ユーザーは、修正が必要な出張の申請を撤回できます。



承認を撤回した後、**[セグメント]** タブの **[修正]** をクリックして出張を変更します。



旅程から **[出張の変更]** をクリックします。



ユーザーは、出張を修正したら再提出する必要があります。ワークフローの構成に応じて、変更額が少額の場合は承認ステップをスキップできます。

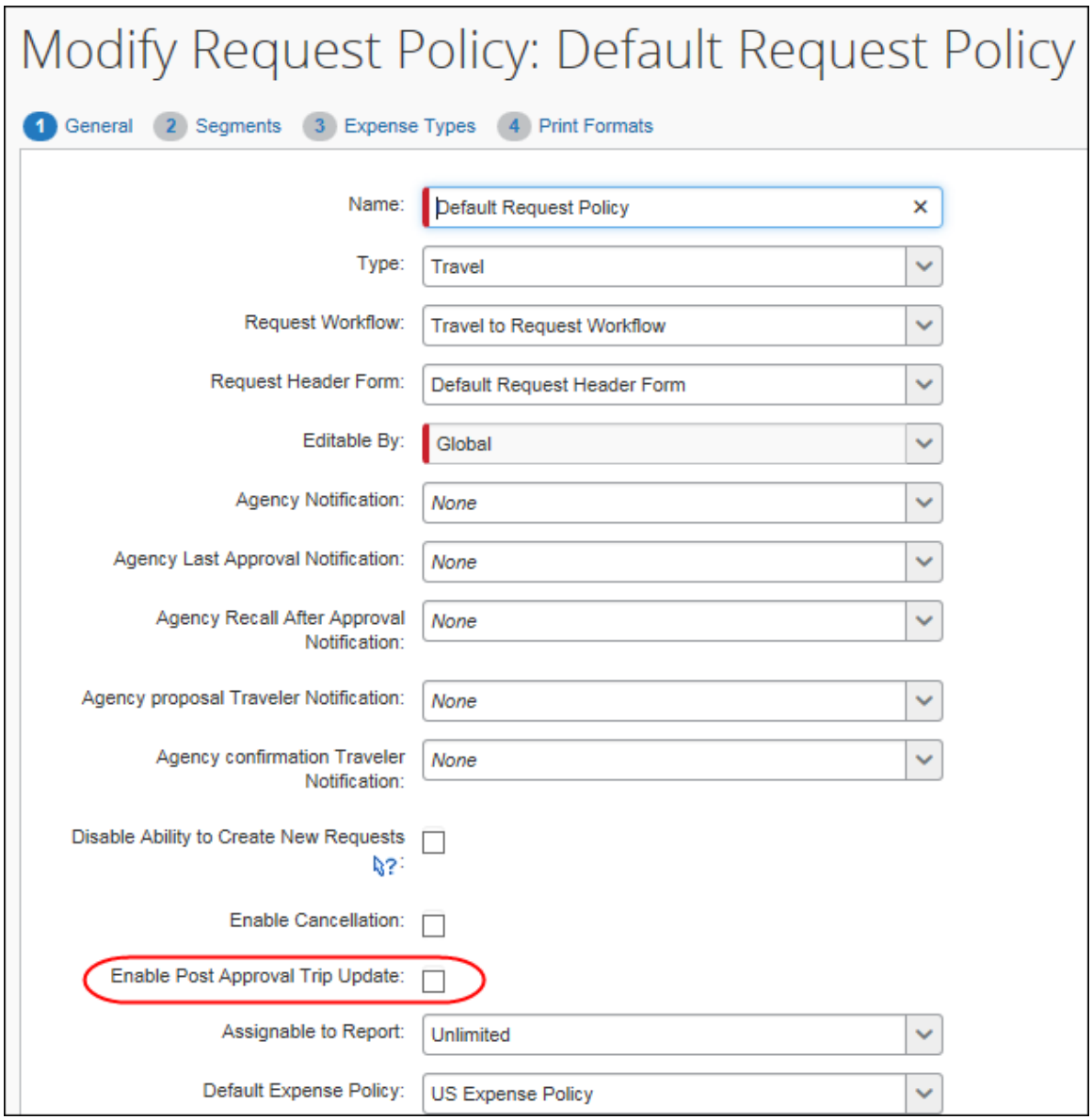
NOTE: 既存の制限は、引き続きすべて適用されます。たとえば、フライト チケットの変更は、オプション [発券後のフライト変更を許可する] が有効でアクティブ化済みの場合にのみ実行可能です。

業務目的とユーザーへの利点

承認後の出張の更新機能は、Concur Travel 単独で機能します。この機能拡張により、Travel と Request を統合しているお客様は、承認後に出張を更新できます。出張の更新後 の 2 回目の承認を必須にすることもできます。

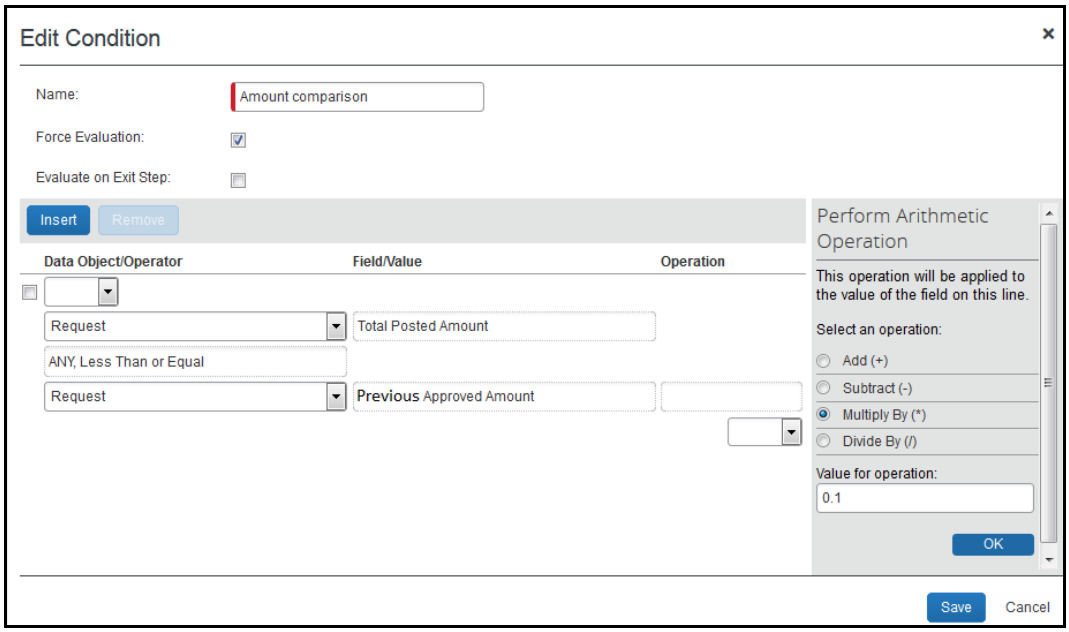
設定およびアクティブ化

この機能は、管理者がポリシーの **[承認後の出張の更新の有効化]** チェック ボックスを選択してアクティブ化します。



NOTE: この機能を使用するには、ワークフロー設定の **[承認後の申請の撤回を従業員に許可]** を有効にする必要があります。

管理者は、変更額が少額の場合は承認ステップをスキップするようにワークフロー ステップのルールを構成する必要があります。このルールに対して、**[ワークフロー]** に [以前の計上金額] 変数が表示されます。



📖 さらに詳しい情報は、設定ガイド「Request: ワークフロー（概要）」をお読みください。

オンライン ヘルプ - 対応言語の追加

概要

オンライン ヘルプの更新と拡張を実施しました。2016 年 12 月のリリースで、新しい翻訳済みヘルプへのリンクが **[ヘルプ]** メニューに表示されます。

以下の言語が Tier 2 から Tier 1 に昇格しました。

- チェコ語（cs）
- デンマーク語（da）
- フィンランド語（fi）
- 韓国語（ko）
- ノルウェー語（no）
- ポーランド語（pl）
- ロシア語（ru）

また、既存の Tier 1 言語の翻訳も更新されました。

業務目的とユーザーへの利点

新しいヘルプ コンテンツは 21 言語に翻訳されており、世界各地のお客様にヘルプ情報を利用いただけるようになりました。

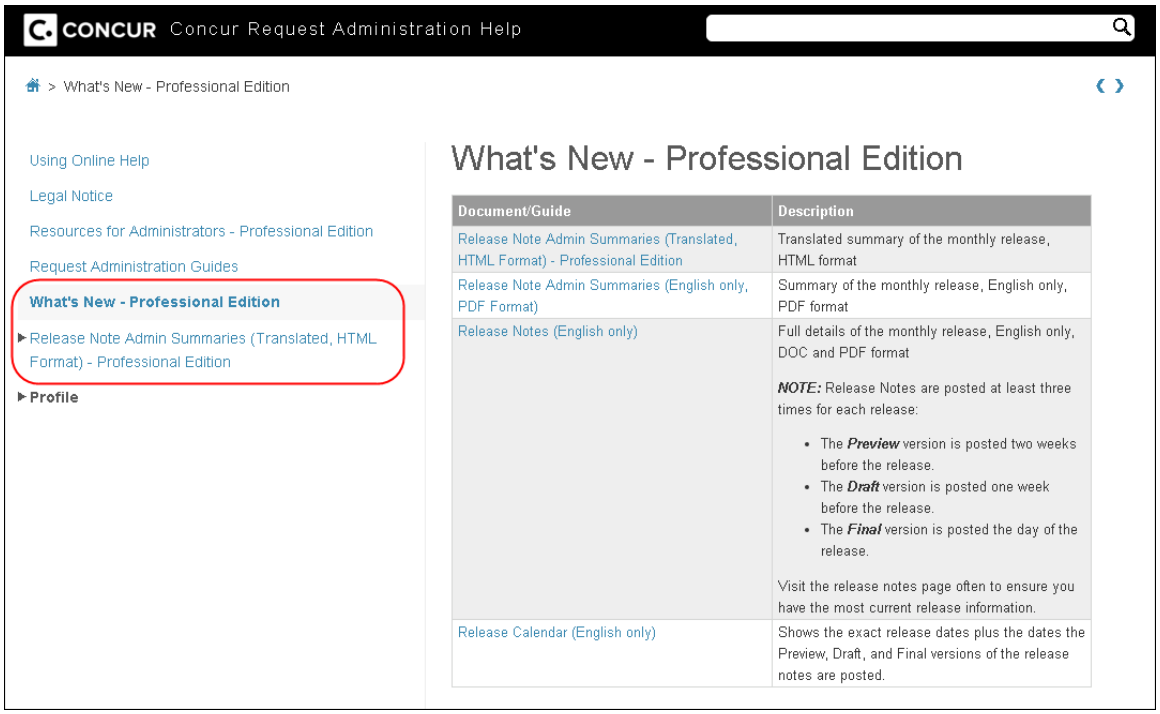
設定およびアクティブ化

自動的に使用できるようになります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。**[ヘルプ]** メニューのリンクは、サインイン ページで選択した言語に基づいて自動的に更新されます。

リリース ノートの管理者サマリーがオンライン ヘルプに表示されるようになりました

概要

リリース ノート情報および管理者サマリーのページを追加し、オンライン ヘルプで利用できるリリース ノートの情報を拡張しました。すべての管理者ユーザーに対して、オンライン ヘルプの左側に **[新機能]** および **[リリース ノート管理者サマリー]** リンクが表示されます。



リリース ノート管理者サマリー（HTML 形式）は、すべての Tier 1 言語に翻訳されます。管理者には、リリース ノート完全版（英語のみ、doc または PDF 形式）、リリース カレンダーも表示されます。

翻訳版の管理者サマリーは、月次リリースから間もなく、これらのページに掲載されます。

業務目的とユーザーへの利点

[新機能] ページには、リリースごとに提供されるすべての情報が掲載されているため、お忙しい管理者の皆様もこの一か所で情報をチェックできます。新しく翻訳される [管理者サマリー] では、月次の変更点の概要を各言語でご覧いただけます。

設定およびアクティブ化

自動的に使用できるようになります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

ConcurSolutions.com サインイン ページの背景画像の更新

概要

サインイン ページの背景画像は、四半期ごとに新しい画像に更新されます。

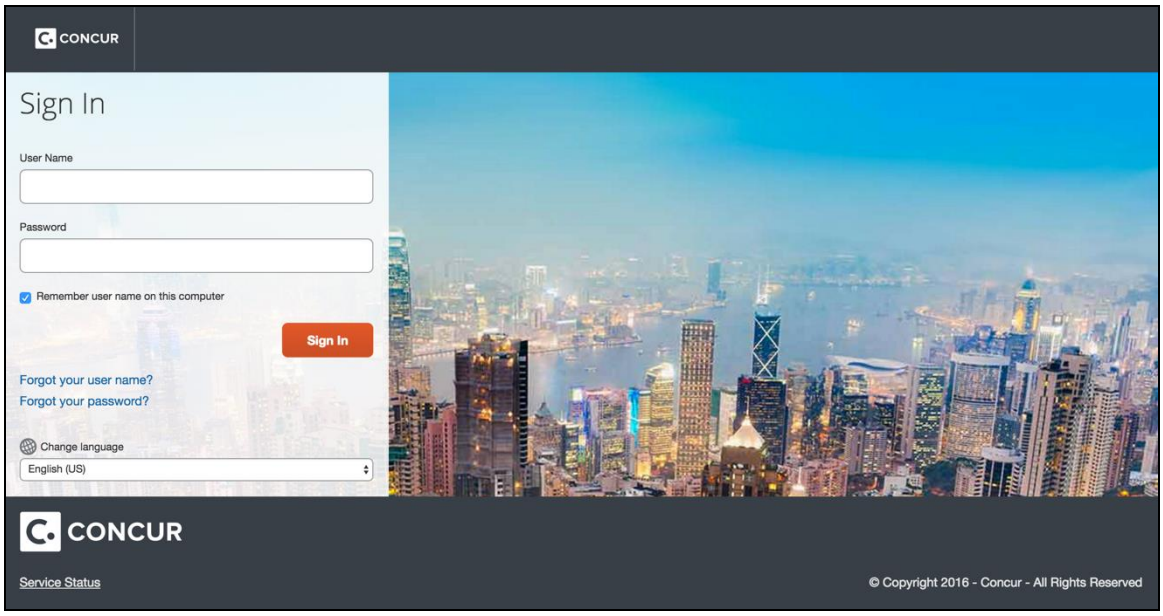
サインイン ページが対象です。Professional 版と Standard 版のいずれも対象となります。

お客様やユーザーへの利点

サインイン ページの雰囲気が一新されます。

ユーザーへの表示

サインイン ページの例:



設定およびアクティブ化

Concur は自動的に変更されます。特別な設定やアクティブ化は必要ありません。

管理

インポート／抽出管理 - ジョブの実行確認とログ記録の変更

概要

このリリースでは、統合抽出管理者ロールおよび統合抽出モニター ロールがインポート/抽出管理者ツールのオプションを使用してインポート ジョブや抽出ジョブを実行する際、確認メッセージが表示されるようになりました。さらに、このジョブがリクエストされると、そのアクションが変更ログ ツールに記録され、ジョブを実行した従業員のメール アドレスが監査目的で記録されます。

業務目的とユーザーへの利点

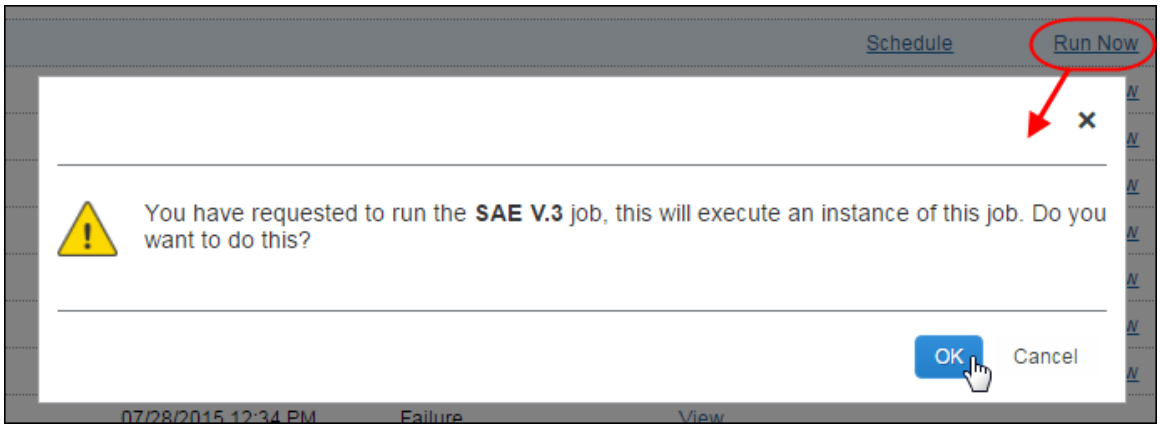
管理者がジョブを実行する際に確認ステップが必要になるため、ジョブを誤って実行することを防げる機能拡張です。

機能の説明 - ジョブの実行リクエストと変更ログの更新の仕組み

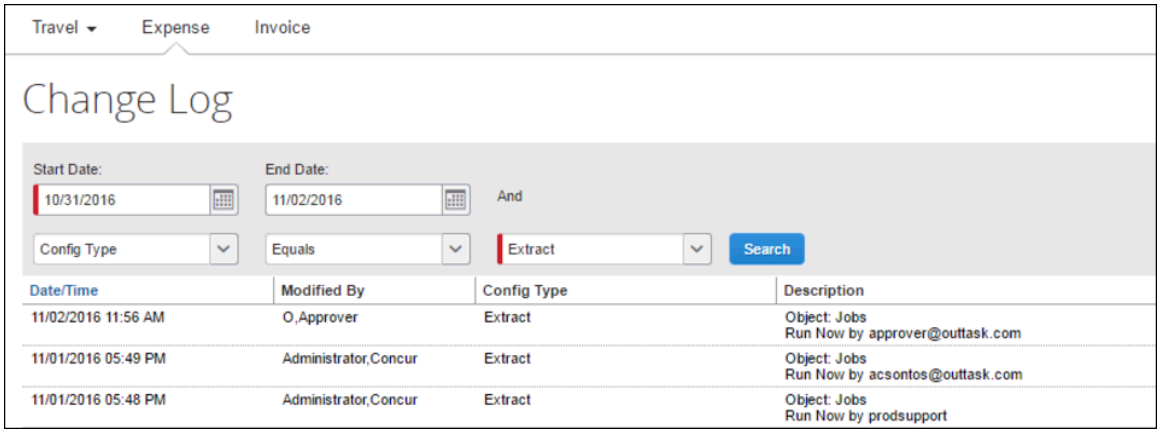
管理者が、インポート/抽出管理ツールにある各タブのオプションを使用してインポート ジョブや抽出ジョブを実行するときに、新しい確認メッセージが表示されます。以下のアクションが対象になります。

- **[インポート] タブ:** インポートするために **[今すぐ実行]** をクリックする。
- **[スケジュール ジョブ] タブ: [実行履歴]** の **[表示]** をクリックし、⊕ 記号をクリックして表示を展開してから、**[今すぐ実行]** 列の **[今すぐ再実行]** をクリックする。
- **[抽出定義の設定] タブ: [今すぐ抽出]** をクリックする。

確認メッセージが表示されるので **[OK]** をクリックすると、そのジョブが順番待ち状態になってメッセージが消えます。**[キャンセル]** をクリックするとメッセージが消え、そのジョブは実行されません。



実行が正常にリクエストされると、エントリが変更ログ ツールに書き込まれ、ジョブを実行した従業員のメール アドレスが記録されます（経費精算クライアントの変更ログの表示はこの図のようになります）。



設定およびアクティブ化

自動的にオンになります。このリリース ノートで説明している以外の特別な設定やアクティブ化は必要ありません。

📖 さらに詳しい情報は、**ユーザー ガイド「Import/Extract Administrator (製品共通)」**をご参照ください。

2017 年 3 月に TLS v1.0 暗号化プロトコルのサポートを終了

概要

Concur は TLS 暗号化プロトコル バージョン 1.0 のサポートを終了し、より安全な TLS バージョン 1.1 や 1.2 のサポートを継続することを先月お知らせしました。TLS プロトコルとは、電話やコンピュータとクラウド ベースのサービスとの間で安全な双方向コミュニケーションを可能にするものです。

そのバージョン 1.0 は、ブラウザや電話を使用して Concur にログインするユーザーの 1% 未満に限られます。このサポート終了によって影響を受けるのはごく少数のユーザーです。

ご注意ください: 終了時期が 3 月に変更になりました

ブラウザのセキュリティ設定を手動で変更するため、十分な準備期間が必要です。サポートの終了時期を 2017 年 1 月 31 日から 3 月 31 日に変更しました。この変更についての詳細情報は、今後のサービス リリースで提供します。

業務目的とユーザーへの利点

Concur は安全を慎重に考慮し、お客様がより堅牢な TLS バージョン 1.1 および 1.2 へアップグレードしやすいように今回の決断をいたしました。TLS v1.0 を終了することによって、お客様がより新しいバージョンを使用した安全な Concur サービスをご利用いただけるようになります。

お客様へ

安全でない接続を使用していると機密データが漏えいする可能性があるため、 あらゆる TLS 通信チャンネル（Concur サービスなど）が危殆化する恐れがあります。そのため Concur は、お客様にはこのプロトコルのサポート終了にあたり、十分ご準備いただくようお願いしております。お客様の Concur 管理者は、 Concur と共同して自社で TLS の新バージョンのコンプライアンス評価を開始することができます。

この変更による影響

一般的に、TLS を使用して Concur サービスとアウトバウンド/インバウンド通信をしているブラウザや携帯電話が影響を受けます。デバイスによっては、 TLS v 1.1 またはそれ以降にアップグレードできない場合があります。

バナー表示

TLS 1.1 以降をサポートしていないブラウザでログインしようとすると、バナーを表示し、接続できないようになります。これは、今後予定している変更を喚起するものです。

社内での新バージョンへの移行

TLS v 1.1 以降のサポートへの移行には、お使いのブラウザのセキュリティ設定の更新が必要な場合があります。多くの場合、会社はすでにサポート登録は済んでいるため、必要なのは非対応のブラウザを特定して新バージョンにアップグレードさせることだけです。

TLS v 1.1 以降のサポートがないオペレーティング システムを搭載した携帯電話は、場合によって対応が異なります。つまり、OS のアップデートによって対応できるデバイスもあれば、サポートやアップデートがない古いデバイスは使用を終了させなければならいない場合もあります。

解決した問題

ケース ID	説明
CRMC-95731	中国の鉄道駅の場所が表示されない
CRMC-99353, 08677080	すべてのフィルターを選択している時でも [申請] タブに申請が表示されない
CRMC-99864, 08813736 CRMC-100059, 08826018 CRMC-100058, 08825029	[場所] に欠けている空港がある
CRMC-95365, 08260655	事前申請管理者がプロキシや代理として作成した申請を承認できてしまう。
CRMC-92803, 07981168	従業員インポートの Java エラー
CRMC-98841, 08645930	空港名が正しくない

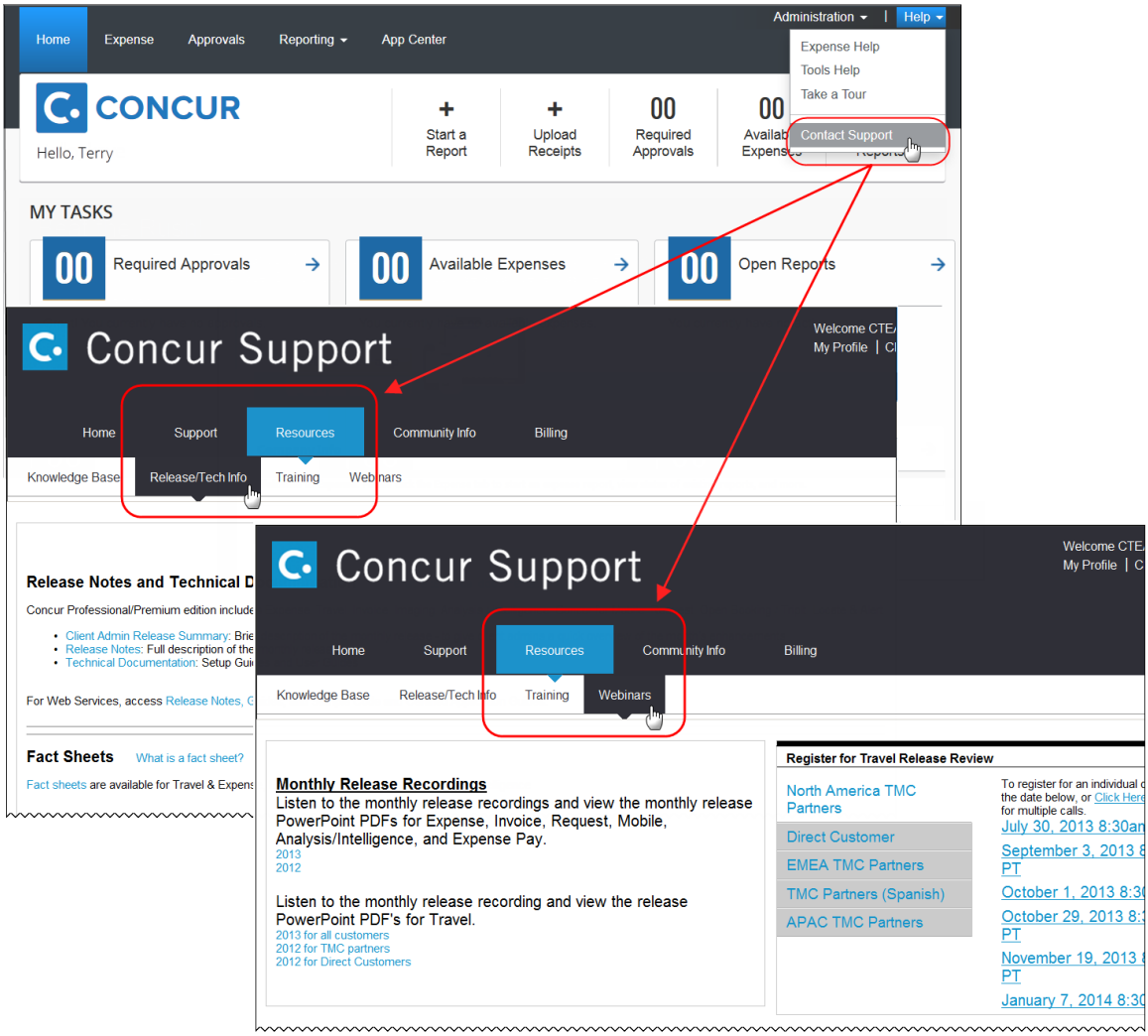
その他リリース ノート、ウェビナー、および技術文書

Concur サポート ポータル

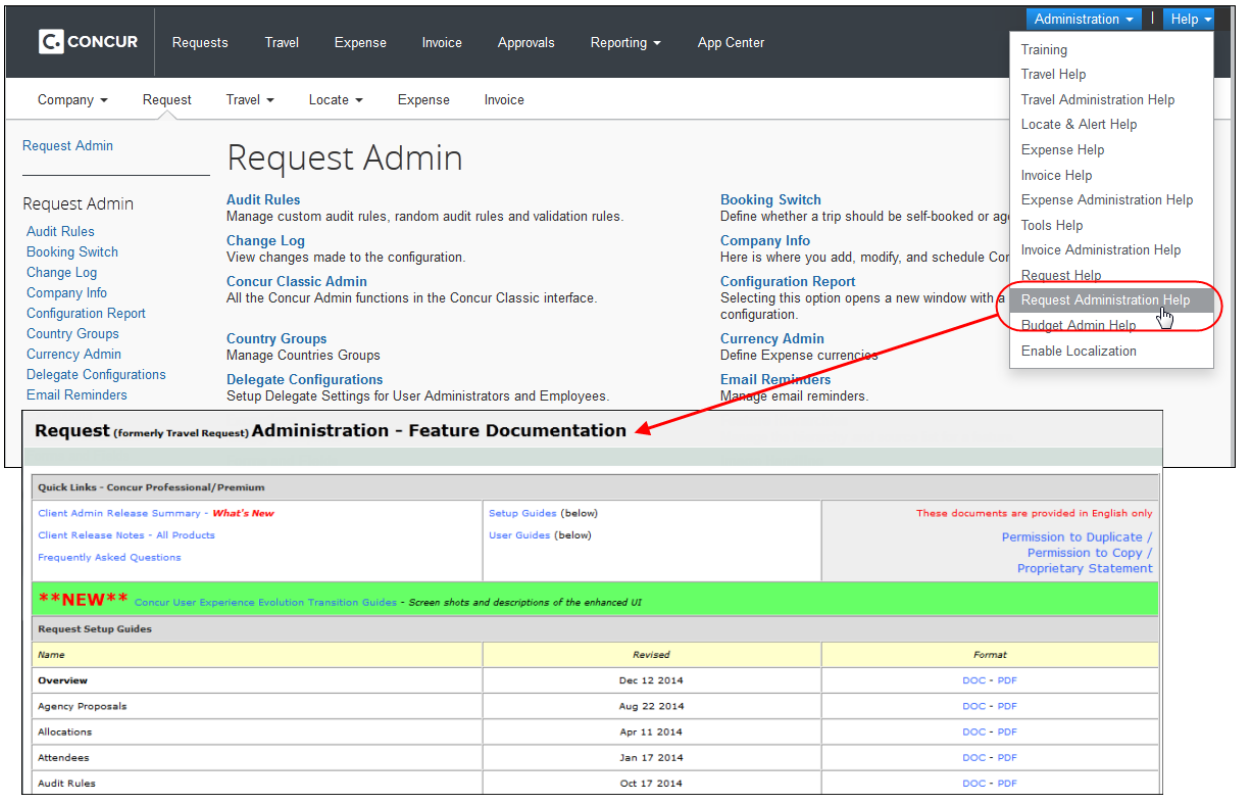
Concur サポート ポータルのリリース ノート、Web セミナー、および技術文書にアクセスしてください。

適切なアクセス権があれば、 Concur で **[サポートへのお問い合わせ]** メニュー オプションが利用できます。**[ヘルプ]** > **[サポートへのお問い合わせ]** をクリックし、 Concur サポート ポータル内の **[Resources（リソース）]** をクリックしてください。

- リリース ノートや技術文書にアクセスするには **[Release/Tech Info（リリース/技術情報）]** をクリックします。
- 録画や配信中の Web セミナーを見るには、 **[Webinars（Web セミナー）]** をクリックします。



NOTE:「青空」 以外のインターフェ-ス レイアウトを使用している場合は（出張構成のページで設定）、**[サポート]** リンクにアクセスするには **[ヘルプ]** をクリックする必要がありますのでご注意ください。

オンライン ヘルプ - 管理者

管理者ロールを持つユーザーは、 Concur のオンライン ヘルプを使ってリリース ノート、技術文書およびその他のリソースにアクセスできます。